

Chance Challenge Change

柔軟な発想で試行錯誤し、変化にチャレンジ！

令和3年度
総合的な探究の時間・ぎふグローバル人材育成推進事業
岐阜聖徳学園高等学校
令和3年9月8日 7号

夏季教職員研修会

8月23日（月） 13:00～14:30 コンベンションホールにて、全教職員を対象にした「総合的な探究の時間（総合）」に関する研修会を実施しました。総合計画係によるプレゼンテーション「SDGs（持続可能な開発目標）の時代における総合について～2030年までにSDGsを実現することに向けて、どのような資質・能力を育成するのか～」及び、ゲストティーチャー辻晃一氏（丸重製紙企業組合 理事長）による講演「SDGsって何？」を実施しました。この研修会を通して、SDGsの時代における総合での探究活動を通して育成する資質・能力について考えます。



SDGsの時代における総合について（総合計画係）

「SDGsの5つの基礎知識」

- ① 途上国先進国まで全世界、全地域共通の目標
- ② 産学官民、全セクター、市民一人ひとりが主役
- ③ 誰一人取り残さない
- ④ 17ゴール、169ターゲット
- ⑤ 2030年が目標の期限

「SDGsの考え方」

課題相互間の「負の連鎖構造を重視する」こと。

例）アフリカ大陸中央部に位置するチャド湖

「地球温暖化」による「砂漠化」の影響で水位が下がり急激に小さくなり、「水不足」により「農業や漁業が衰退」して「仕事を失い」、水を運ぶために「教育機会も失い」、大都市へ移り住むことに。大都市には「貧困層が増え」街が「スラム化」し、「治安が悪化」し、「衛生環境も悪化」。つながりが希薄な都市での貧しい生活の中で多くの若者が「イスラム過激派組織」の勧誘を受け、「テロ活動」へ加わることに。このように一見、無関係に見える2つの問題が、実はお互いに繋がりがあって起こっている。

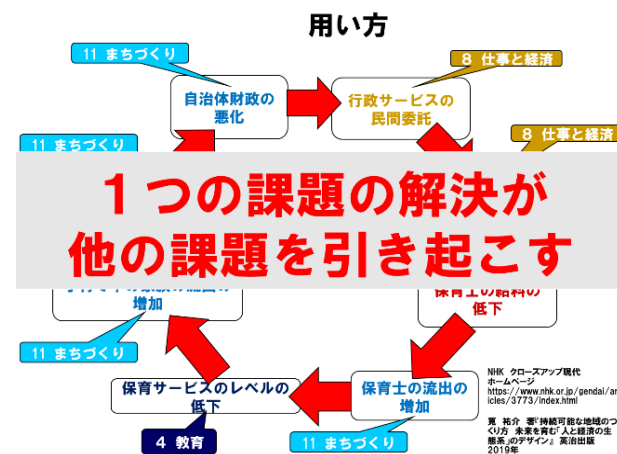
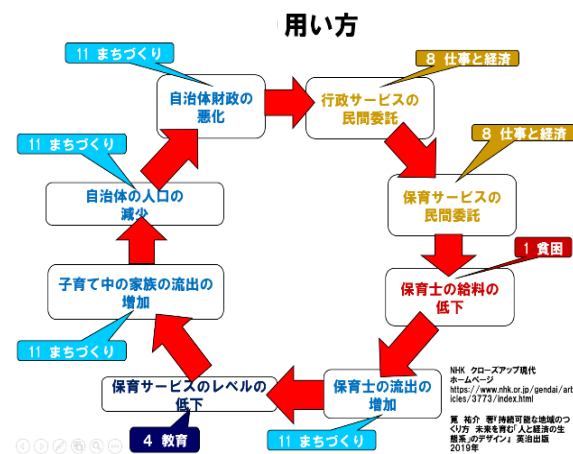


「SDGsの使い方①」

1つの課題の解決が他の課題を引き起こす

例）京都市の保育サービスの民間委託

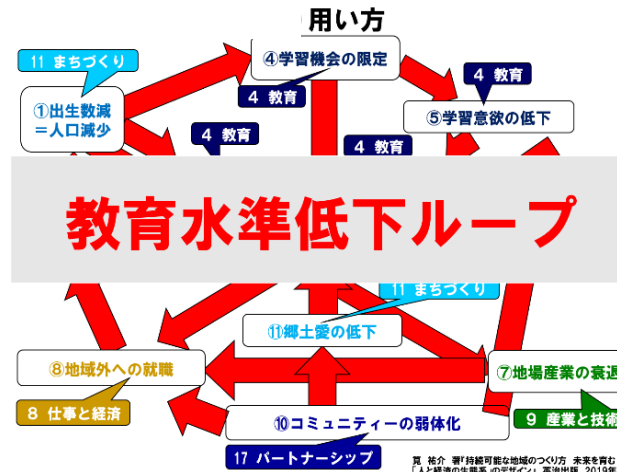
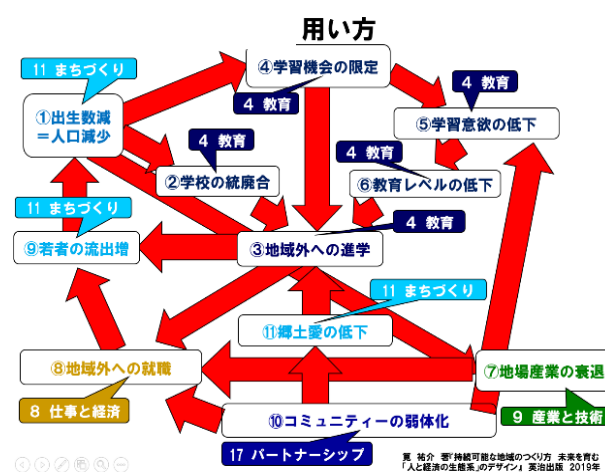
自治体の財政の悪化に伴い、「行政サービスの民間委託」を推進、「保育サービス」を競争入札に。価格競争の結果、「保育士の給料が、急激に下がる」ことに。保育士は「この街で仕事を続けられなくなる」ことに。3年ごとに受注業者が変わることで、保育士が「総入れ替え」になるため「保育の質が下がり」ました。その結果、子育て中の家族が地域から離れていき、自治体の人口がますます減少し、「財政もますます悪化」しました。このように、財政悪化の問題を解決するために進めたことが新たな問題を生み、その結果さらに財政悪化に陥ることになってしまいました。



「SDGsの使い方②」

教育水準低下ループ

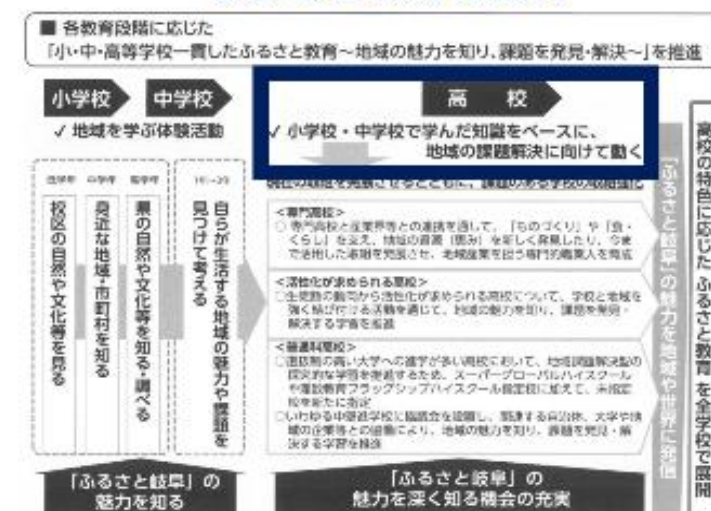
現在問題となっている少子化が学校の統廃合、教育レベルの低下、学習機会の喪失、地域外への進学へと繋がり、郷土愛の低下やコミュニティの弱体化に繋がっています。学校のよう
な教育機関では教育関係の問題点だけではなく、地域が抱える様々な問題にも目を向けるべきです。「課題相互間の負の連鎖構造を重視する」というSDGsの考え方から、「**1つの課題の解決が他の課題を引き起こしている**」ことを考えて課題解決に取り組んでいく必要があります。



これからの「本校の総合」について

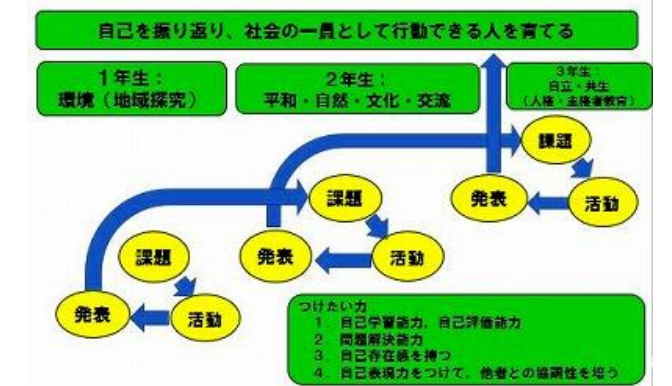
「岐阜県教育振興基本計画」では2030年以降の社会変化などを見据え、今後5年間で重点的に取り組む施策の第1番目に「ふるさと教育の充実」をあげており、「高校は、小学校・中学校で学んだ知識をベースに、『地域の課題解決に向けて動く』」ことが求められています。これを踏まえ、本校の総合は、これまでの総合を「変える」のではなく、「地域の課題を解決するための探究活動」を「深める」方向で進めていきたいと考えています。

使い方 ふるさと教育の充実



岐阜県ホームページ
<https://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/kakushu-iinkai/kyciiku-iinkai/17765/selsaku/vision3.data/dai3bilion-zentaiban.pdf>

新学習指導要領における総合案



「SDGsって何？」（ゲストティーチャー）

ゲストティーチャー辻晃一氏（岐阜県美濃市の丸重製紙企業組合 理事長。カードゲーム「2030 SDGs」の公認ファシリテーター）によるオンライン講演。



SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」とは、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成する行動計画。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されている。

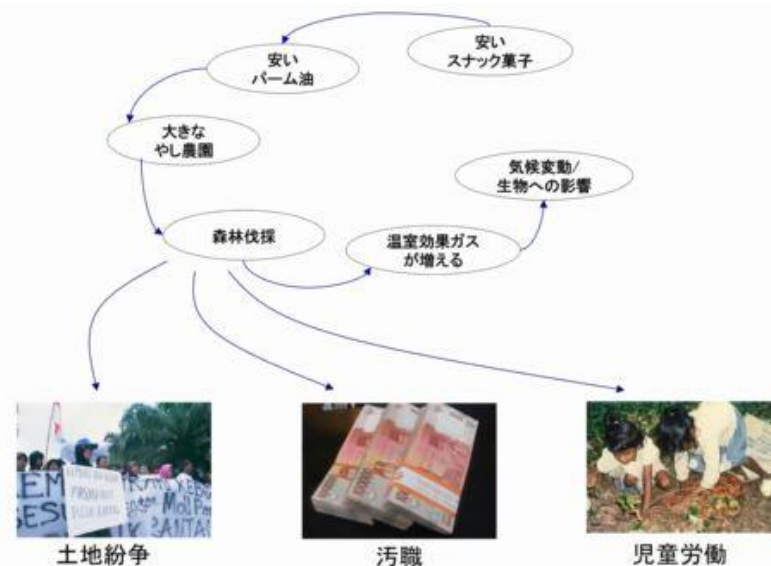
つながっている世界

“風が吹けば桶屋が儲かる”（風が吹く→砂埃がたつ→目に入って失明→失明すると三味線弾きに→三味線には猫の皮→天敵の猫がいなくなるとネズミが増える→ネズミが桶を噛む→桶屋が儲かる）のようなことがまさに世界中で起こっています。

インドネシア スマトラ島では森林を伐採し、パームヤシの大規模農場でパーム油を作っています。パーム油は安いスナック菓子や洗剤など様々な物に使用されていますが、その背後には**森林伐採から土地紛争や汚職、農場**

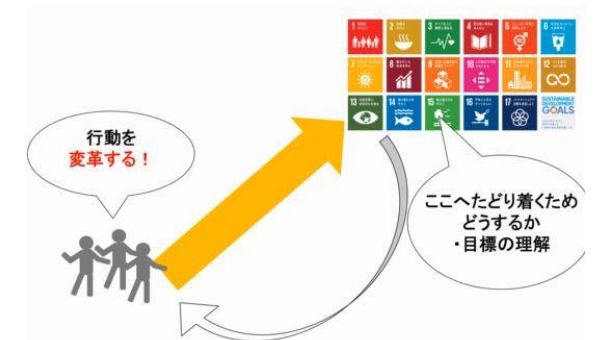
での児童労働、森林伐採による気候変動・地球温暖化などの問題へと繋がっています。

私達が日々食べている食料や生活用品は私たちが見ていないところで、世界の様々な問題へと繋がっているのです。



世界はつながっている、そして私も起点

SDGsを進めて行くには、世界はすべてつながっており、今地球上で起きている問題は誰かのせいや他人事ではなく、その原因は私自身である、自分事であるという認識を持つ必要があります。そして、SDGsのゴールをしっかりと理解し、そのゴールへたどり着くためにどうしたらいいのか（バックカスティング思考）と考え、**自分たちの行動を変革**していきましょう。



世界の動き

世界は、SDGsに取り組むと経済が発展すると認識しており、Society5.0（サイバー空間やフィジカル空間を融合させ、経済発展と社会的課題の解決を擁立する）とSDGsを両軸で進めていくことで、**世界の問題を解決しながら、経済も発展させていこう、人間が人間らしく生きる世界を作っていこう**という動きになってきています。

投資（お金の使い方）の変化

世の中に良い事をしている会社にお金を貸そう！というESG（Environment Social Governance）投資という考え方から、お金の使い方も変わってきています。たとえば火力発電は二酸化炭素を出し、環境によくないので自然エネルギーの会社を支援しよう、ガソリン車やディーゼル車ではなく電気自動車を主流に、使う側/買う側の責任としてフェアトレード商品を使う、環境に配慮した商品についている認証マークを確認しようなど。また、**これらの問題を発見する力、そしてそれを解決できる人材**がこれから求められる人物像となってきます。



身近なところから考える

たとえばコンビニから考えてみると、なぜ24時間営業する必要があるんだろう？いつも食品が並んでいるのはなぜだろう？食卓だと、誰がお米、魚、野菜を作ってくれたんだろう？どうやってここまで来たんだろう？、家族が困っていることはなんだろう？など、身近なところからも世界へと繋

がっており、そこには見えない問題があります。また仕事からだ、将来なくなる仕事または残る仕事はなんだろう？新しく生まれる仕事はなんだろう？何のために働く（生きる）のだろう？など、自分の将来に関わることが見えてきます。

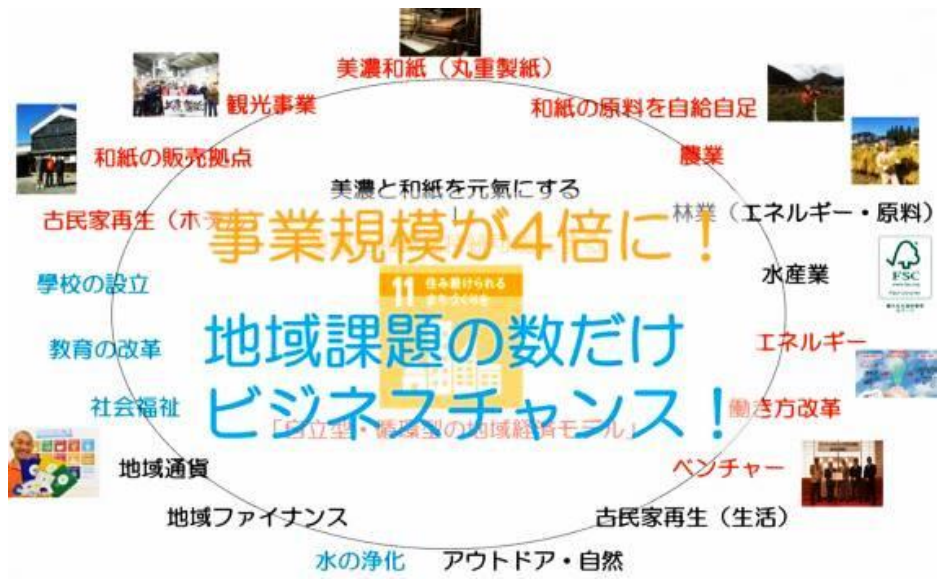
美濃和紙メーカー辻さんのSDGs活動

美濃市は少子化で人口が減り、小中学校が廃校に。美濃和紙の生産者も激減。その美濃市の問題を解決するための取り組みを実施しています。

- ◆ エネルギー：使っているエネルギーの代金は電力会社の本社がある都市へと流れてしまい、住んでいる地域にはお金が落ちないので、地域にお金が出るための仕組みづくり
- ◆ 空き家問題：和紙問屋に使われていた空き家をリノベーションして古民家ホテルや和紙専門店、アートギャラリーとしてオープン。子連れ出勤の推進、シェアオフィスなど。
- ◆ NPO：ニート、ひきこもりたちの力を引き出すために耕作放棄地を利用した農業の推進と地球環境にやさしいコミュニティづくり



このようにピンチをチャンスに変えることで事業規模が倍増、地域課題の数だけビジネスチャンスがある！



SDGsへのアプローチ

今の事業内容・活動内容の中にSDGsを発見したり、SDGsを通じて幅を広げ、使命感（社会問題の解決）・ワクワク感（理想の社会）に対し既存事業の資源を活用していきましょう。そうすることで、モチベーションが持続し、共感も得られやすく、柔軟な発想で独自の事業展開ができるようになります。

学校が無くなったら作ればいい。これからは箱のキャンパス、校舎は必要ありません。タブレットひとつでどこでもオンラインで体験できるフィールドにすることが出来ます。

今は色々な方法が手軽にできる時代になっています。クラウドファンディングや株式会社設立など、お金がなくても、高校生でもできることがたくさんあります。

世界を変えることはできなくても、自分を変えることはできます。まずは**自分の行動をTRANSFORM（変革）**しよう。そのために、地域の課題を見つけて、それをいろんな形で体験してみることが大切です。子どもたちの未来を守るため、**今、私たちがTRANSFORMして、新しい社会構造を作り、それを子供たちに残していくことがSDGsを通じて私たちがやるべきこと**です。

SDGsはグローバルアクション

シンクグローバル、アクトローカル！